

家康決死の逃避行

＜申込方法＞

①はがき、②電子メール、③ファックスのいずれかでお申し込みください。締切はいずれも以下の通り。

【申込締切：2019年2月15日(金) 17:00必着】

定員に満たない場合は締切日以降も参加を受け付けます。ただし、締切日以降はお電話にてお問い合わせください。

①はがきの場合

代表者の氏名・住所・電話番号および参加人数をご記入のうえ、右記お申し込み先へご送付ください。なお、送迎バスをご希望の場合は乗車駅(貴生川駅/上野市駅)ごとの利用人数も明記してください。

②電子メールの場合

本文に代表者の氏名・住所・電話番号および参加人数を記入してください。なお、送迎バスをご希望の場合は乗車駅(貴生川駅/上野市駅)ごとの利用人数も明記してください。件名を「家康決死の逃避行シンポジウム参加」として、右記お申し込み先へ送信してください。

③ファックスの場合

下段の参加申込書に必要事項を全てご記入のうえ、右記お申し込み先へ送信してください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

株式会社 日本旅行 草津支店(業務受託機関)
「家康決死の逃避行シンポジウム」参加受付係
(担当:森田、吉川)
〒525-0032 滋賀県草津市大路1-10-1
電話：077-562-6001(平日10:00～18:00)
ファックス：077-562-5613
Eメール：kusatsu_office@nta.co.jp

個人情報について

今回ご提供いただく個人情報は、甲賀市・伊賀市が定める個人情報保護条例の規定に基づき適切に管理します。

注意事項

- ◆定員は500名です。参加希望者が定員を超えた場合には抽選で参加者を決定します。
- ◆当選された方には、「参加票(はがき)」を送付いたします。発送をもって当選のご連絡に代えさせていただきます。また、シンポジウム当日は「参加票(はがき)」が入場券となります。必ずご持参ください。
- ◆落選された方には、ご連絡いたしません。ご了承ください。
- ◆悪天候が予想される場合、プログラム内容を変更・中止することがあります。詳細は上記までお問い合わせください。



＜アクセス＞

お車でお越しの場合

- ◆名阪国道をご利用の方は下柘植I.C.から県道133号を甲南方面に向かって車で20分。
- ◆貴生川方面よりお越しの方は「庚申口」交差点より甲南町方面に向かい、5つ目の信号(竜法師口)を右折して車で1分。
- ◆会場の駐車場をご利用ください。

公共交通機関の場合

- ◆貴生川駅(JR草津線、信楽高原鉄道信楽線、近江鉄道本線)または上野市駅(伊賀鉄道伊賀線)からの送迎バスをご利用ください。
- ◆ただし、送迎バスをご利用の場合は事前にお申し込みが必要です。上記の申込方法をご参照ください。なお、定員を超えた場合は、ご乗車いただけない場合がございます。

送迎バス時刻表

貴生川駅ご利用の場合 乗車時間 約20分		上野市駅ご利用の場合 乗車時間 約45分	
貴生川駅発 (南口)	会場発	上野市駅発	会場発
11:30	16:20	11:30	16:20
12:30			



参加申込書 (ファックス番号:077-562-5613) ▶申込メ切: 2019年2月15日(金) 17:00まで

代表者氏名	(フリガナ:)		
住所	〒		
電話番号	() -	ファックス番号	() -
参加人数	代表者他 ()名		
送迎バスの利用	いずれかにチェック→ <input type="checkbox"/> 利用しない <input type="checkbox"/> 利用する: 貴生川駅発()名 / 上野市駅発()名		

家康決死の逃避行

影で支えた伊賀・甲賀の忍者たち

参加無料
定員500名

2019年
2月23日(土)
13:00～16:00
(12:30開場)



基調講演・基調対談

『謎とき本能寺の変』
著者 藤田 達生 氏



基調対談

『忍びの国』
著者 和田 竜 氏

天正十(一五八二)年六月、京都で「本能寺の変」が勃発したその時、徳川家康は、わずか三十余名の家臣と大坂の堺に滞在していた。甲賀の軍勢や地侍農民の目を避けながらひとまず本国三河をめざす。そこで最短経路として浮上した伊賀・甲賀越えルート。その道中に結ばれた家康と伊賀・甲賀忍者との絆とは…

忍の里・プララ 甲南情報交流センター 多目的ホール

滋賀県甲賀市甲南町竜法師600
JR草津線「甲南」駅から徒歩20分

◆ 貴生川駅または上野市駅から
送迎バスあり(詳細は裏面)

忍びの里伊賀甲賀忍者協議会
<http://www.shinobinosato.com/>

[構成団体]
甲賀市、伊賀市、
甲賀市観光協会、
信楽町観光協会、
一般社団法人伊賀上野観光協会





家康決死の逃避行

—影で支えた伊賀・甲賀の忍者たち—

2017年に甲賀市・伊賀市が認定を受けた
日本遺産「忍びの里 伊賀・甲賀—リアル忍者を求めて—」の物語を
地域内外で共有し、その価値を広く発信するため、シンポジウムを開催します。

PROGRAM

- 13:00 開会あいさつ 岩永 裕貴 氏(甲賀市長)
- 13:10 基調講演 忍びの国と神君伊賀・甲賀越え 藤田 達生 氏
- 13:50 基調対談 『忍びの国』の魅力 和田 竜 氏×藤田 達生 氏



和田 竜
1969年12月、大阪府生まれ。2003年、映画脚本『忍ぶの城』で城戸賞を受賞。2007年、同作を小説化した『のぼうの城』でデビュー。同作は映画化され、2012年公開。

2008年、天正伊賀の乱を題材とした『忍びの国』を執筆、2017年、大野智(嵐)、石原さとみ主演で映画化された。他の小説に『村上海賊の娘』(本屋大賞、吉川英治文学新人賞受賞)、『小太郎の左腕』がある。



藤田 達生
1958年10月、愛媛県生まれ。三重大学教育学部・大学院地域イノベーション学研究科教授。専攻は日本中世史・近世史。著書『謎とき本能寺の変』『天下統一』など多数。本シンポジウムに関する研究は『「神君伊賀越え」再考』(『愛知県史研究』第9号、2005)で、本能寺の変後の徳川家康の逃避行がなぜ「伊賀越え」と呼ばれたのかを考察。他に『伊賀者・甲賀者考』(『忍者研究』第1号、2018)などがある。

15:00 パネルディスカッション 家康の逃避行と伊賀・甲賀

[パネリスト]

- 小山 剛 氏(甲賀市観光協会会長)
- 杉田 利正 氏(甲賀忍術研究会会長)
- 廣澤 浩一 氏(一社)伊賀上野観光協会会長
- 福井 健二 氏(伊賀中世城館調査会顧問)
- 藤田 達生 氏(三重大学教育学部教授)

15:50 閉会あいさつ 岡本 栄 氏(伊賀市長)

全国の日本遺産の魅力が満載!
『日本遺産情報発信ブース』併設



油日神社

—リアル忍者を求めて—
忍びの里伊賀・甲賀

伊賀市と甲賀市が持つ“リアルな忍者”が感じられる魅力ある里の文化や伝統を語るストーリー。今や世界中の多くの人々が忍者に魅せられているが、その本当の姿はあまり知られていない。しかし伊賀や甲賀を歩くと、今も里山には戦国時代を感じる城館が残り、山々には忍者たちが修練の場とした山伏の行場があり、村々に祀られた鎮守の社は忍者たちが結集した合議の場として残っているなど、忍者の真の姿が浮かび上がる。



「神君伊賀越え」の際に家康が立ち寄った徳永寺



神君伊賀越えの道中護衛で出世した多羅尾氏の代官陣屋跡

日本遺産とは日本の文化や伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、地域にある魅力的な歴史遺産の活用を通じて、観光振興や地域活性化に役立てようとする制度。

2017年春、忍者を生み出した地として双璧をなす「伊賀」(三重県伊賀市)と「甲賀」(滋賀県甲賀市)が持つストーリーが日本遺産に認定されました。



日本遺産とは

